

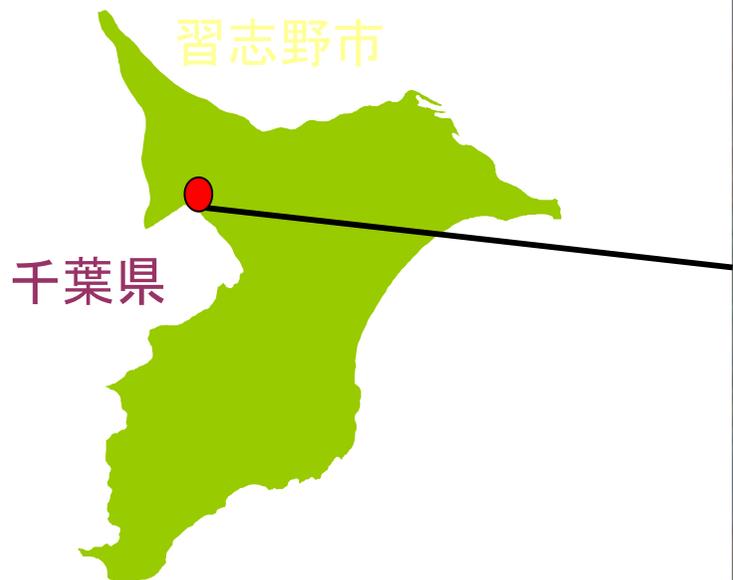
谷津干潟とブーンドル湿地 における湿地交流

2025年2月28日 EAAFP全国大会

阿久津齊
谷津干潟自然観察センターボランティア
Y&B湿地交流協会会長

谷津干潟

- 千葉県習志野市
- 東京湾の最奥部に位置。 面積40ha
- 流入する河川なし。満潮時には水深約1mの海水面になる
- 1993年、ラムサール条約湿地に登録
- 1994年、谷津干潟自然観察センターが開館



ブーンドル湿地



- ・クイーンズランド州ブリスベン市
- ・ブリスベン市の中心街から北東へ約20km のモートン湾の端に位置。面積1200ha
干潟、マングローブ、湿原、森林など多様な環境
- ・1993年、モートン湾の一部としてラムサール条約湿地に登録
- ・1996年、ブーンドル湿地環境センターが開館

習志野市とブリスベン市の湿地提携

- 湿地提携協定書 1998年

目的：湿地の保全とシギ・チドリ類の保護

基盤となる5項目

- ①湿地の保全と渡り鳥の保護に関する調査および情報交換
- ②湿地の保護に関わるスタッフの交換・研修支援
- ③自然保護の認識と理解を高めるための子供達の交流支援
- ④国内外に向けた湿地の保全と渡り鳥の保護に関する啓発
- ⑤両市民による交換訪問の支援

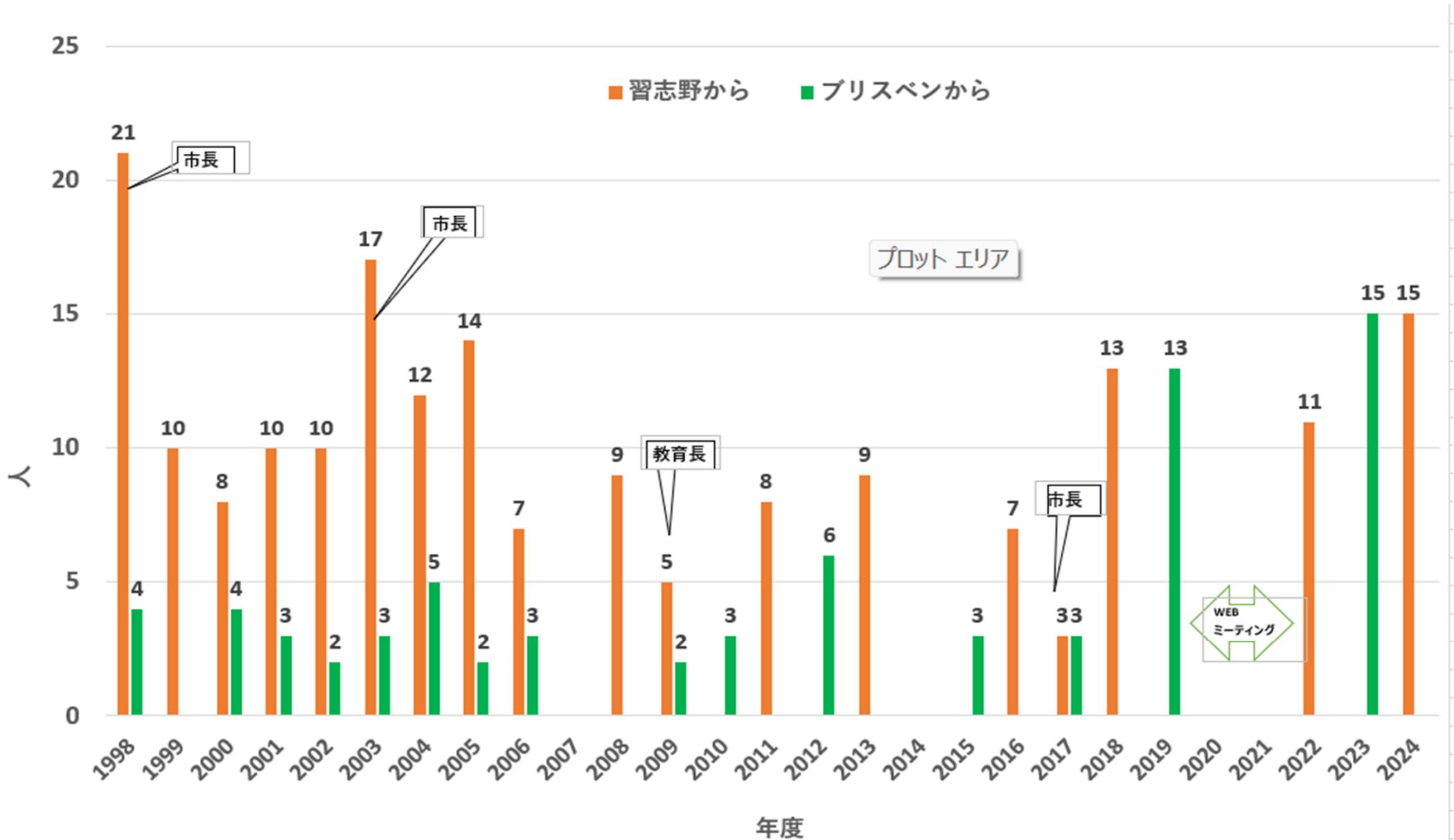
⇒これらに基づいて、行動計画 を策定

- 第1次～第3次5か年行動計画 1999年, 2003年, 2009年
- 長期実施計画 2017年

湿地交流の実施部所

年	基本事項	習志野市	谷津干潟自然観察センター	ブリスベン市
1993	谷津干潟ラムサール条約登録			
1994	谷津干潟自然観察センターオープン			
1998	湿地提携調印	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 主管 実務遂行 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Y&B湿地交流協会 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 展示ボードメンテナンス 訪問者の施設利用協力 </div>
1999	第1次5か年行動計画			
2000				
2001				
2002				
2003	第2次5か年行動計画 教育交流覚書調印			
2004				
2005				
2006				
2007	第1期指定管理者			
2008		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実務遂行変更 本庁→BWEC </div>		
2009	第3次5か年行動計画 教育交流覚書協議			
2010	第2期指定管理者			
2011				
2012				
2013				
2014				
2015	第3期指定管理者			
2016				
2017	長期行動計画			
2018		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 支援 </div>		
2019				
2020	第4期指定管理者			
2021				
2022				
2023				
2024				
2025	第5期指定管理者			

湿地交流の訪問者数



習志野から 189人
ブリスベンから 71人

ブリスベン訪問で行ったこと

シギ・チドリ類の越冬地訪問



干潟



水路



人工干潟



温帯雨林



湿地

湿地保全作業



植樹



外来植物の除去



情報交換会



谷津干潟ユースの活動



谷津干潟の環境



谷津干潟自然観察センターの役割と業務

観察センターなどの施設見学



ブوندル湿地環境センター



ダウンフォールクリークブッシュランドセンター



カラワッサフォーレストパークブッシュランドセンター



モートンベイディスカバリーセンター



ナッジビーチ環境教育センター

ブース出店



バードカービング教室



5周年、10周年記念パネル展示



紙芝居



折り紙教室



ジオロケータ利用によるキアシシギの渡りルート説明

- ・クイーンズランド渉禽類研究会と日本野鳥の会
千葉県協働事業
- ・2010～2016年
- ・ブーンドル湿地で、キアシシギ41羽に標識・放鳥し、3羽を再捕獲
- ・ルート説明された



習志野訪問で行ったこと

干潟訪問



谷津干潟



三番瀬



行徳鳥獣保護区



葛西臨海公園



富津干潟

谷津干潟保全作業



ゴミ拾い



オオヨシキリの巣探し



情報交換会



これまでのふりかえりと今後の湿地交流

Queensland Wader Study Group (QWSG)

What is it and what does it do?

それは何ですか、そしてそれは何をしますか



モートン湾海岸に住む水鳥への妨害管理

デビッド ミルトン
クイーンズランド水鳥研究グループ



GEO-LOCATOR TRACKING PROJECT

GEO-電波探知機 追跡 プロジェクト



Photograph taken by Brian Russell 写真 - ラッソル デントン

By Jon Coleman QWSG

筆者 - ジョン コルマン クイーンズランド渉禽類研究会

学校訪問とイベント参加



谷津南小学校訪問



ジュニアレンジャーと交流

イベント実施



紙芝居



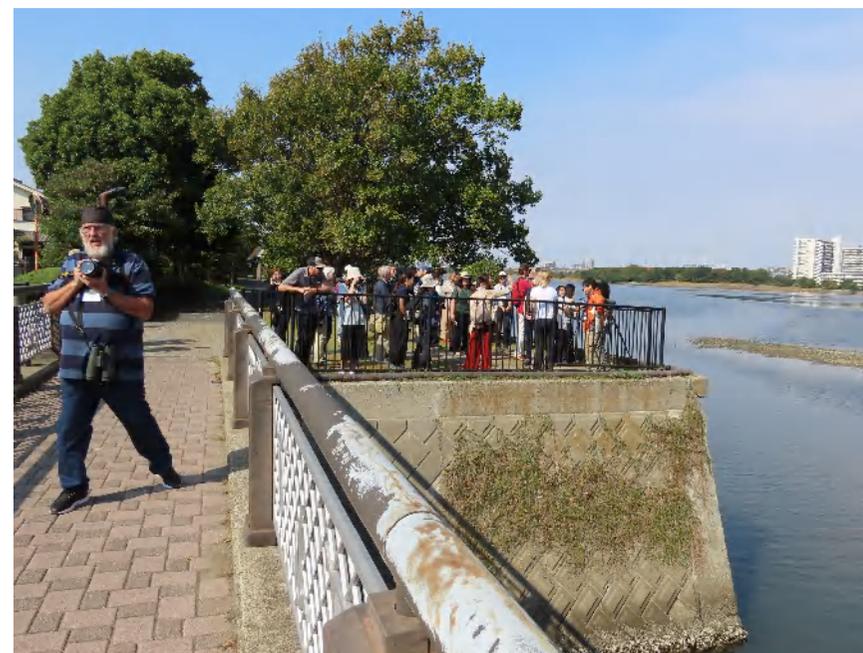
よしず作り



絵本読み聞かせ



バードカービング・ペインティング



バードウォッチング

プライベートな訪問でのおもてなし

- 谷津干潟見学 10回以上
- 谷津干潟自然観察センターでの講演 1回
- 東京森ヶ崎コアジサシの人工埤見学 1回
- バードウォッチング旅行 1回



なぜ市民交流が盛況なのか

市民交流が継続し、活発な要因

- 双方に、長期にわたり積極的に湿地交流に関わってきた人物がいた
- 個人的なつながりや思いを大切にし、友好関係を築いてきた

ブリスベン訪問の輪

参加者

- ・自然や鳥に興味のある人
- ・少しボランティア精神のある人
- ・普通の人

旅行企画

- ・面白くなければ海外旅行ではない
- ・ニーズにマッチした海外旅行である
(知見の興味や現地の参加活動)
- ・ブリスベンの受け入れ体制が充実している

参加者

- ・現地で少しの貢献
- ・訪問参加への感謝の念
- ・おもてなしのお返しをしたい

参加者

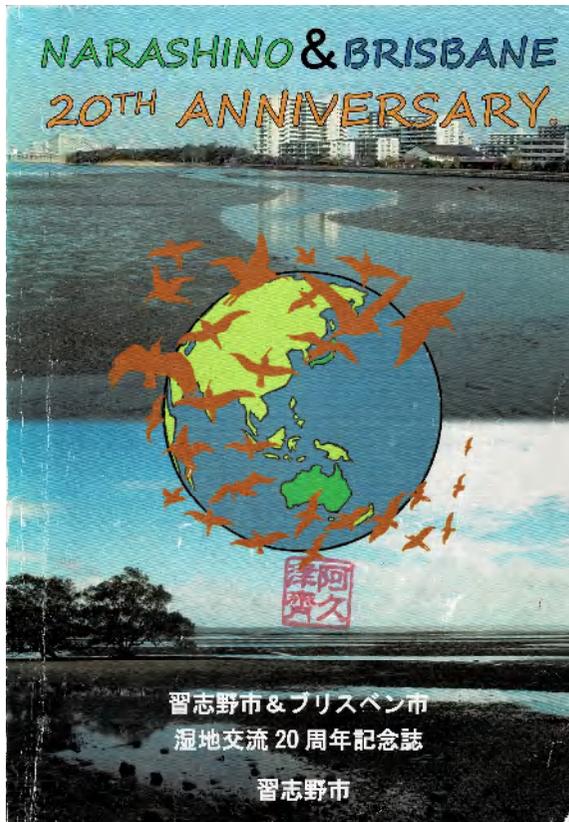
- ・ブリスベンからの訪問受け入れに参加したい
- ・Y&B湿地交流協会へ加入し、継続支援したい

- ・リピーターになる
- ・口コミでの参加の勧誘

湿地の保全とシギ・チドリ類の保護につながる活動だと確信

記念事業・広報活動

習志野市



湿地交流20周年記念誌の発行



ホームページに湿地交流紹介記事



湿地交流20周年記念碑の建立

谷津干潟自然観察センター



湿地交流紹介コーナーの設置



谷津干潟の日
(Y&B湿地交流協会ブース)



湿地交流10周年記念の展示会

交流・ネットワークの取り組み

湿地と渡り鳥の保全を進めるには、国際的な協力が不可欠です。習志野市はこの視点に立ち、これまで、谷津干潟のラムサール条約登録、「東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ」への参加、オーストラリア・ブリスベン市との「湿地提携」などの取り組みを行っています。

習志野市・ブリスベン市の湿地提携

谷津干潟(登録面積40ヘクタール)とオーストラリアのモートン湾沿岸域(登録面積113.314ヘクタール)は、1993年にラムサール条約に登録されました。また、習志野市とクイーンズランド州ブリスベン市は「東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ」の参加地であることから、1998年2月25日に渡り鳥の保護と湿地の保全を目的に「湿地の保全に関する協定」を締結しました。



観察センターではブリスベン市のブーンドル湿地環境センターと連携し、湿地保全の実践に携わる人々との間で情報交換を行

ホームページに湿地 交流紹介記事



世界湿地の日

ブリスベン市



モートン湾ラムサール条約登録20年記念の展望台設置



ナッジビーチ植樹記念のプレート設置



湿地交流20周年記念事業



湿地とシギ・チドリ類を保護するためのブリスベンの取り組みの冊子発行



ブوندル湿地環境センターに湿地交流紹介コーナーの設置

市民パワーが全開

湿地交流は、鳥がとりもつ人の交流

人の絆を大切に

目的：「湿地の保全とシギ・チドリ類の保護」をいつも念頭に！